

【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	管理者・ケアマネの変更があり、運営方法や支援・ケアマネジメントについて、職員の共通認識を持つ必要がある。	職員全体での、運営方法や支援・ケアマネジメントについて共通認識を持つ。	全員での参加が難しいため、各ユニット毎の全員参加を求めて、管理者・ケアマネを交えて運営方針の理解や利用者の生活しやすい環境や職員のやりがいのある職場作りについて共通認識ができるようにする。	3ヶ月
2	35	地震対策として、ロッカーやテレビなどの重量物の固定が十分でないため、避難路がふさがれたり落下転倒の危険が十分にされていない。	避難路路・重量物の転倒防止を行い、安全に非難できるようになる。	重量のあるテレビを軽量のテレビに更新する。(3月4日施行予定) ロッカーなどが転倒して避難路をふさがないように転倒防止具を使用する。	3ヶ月
3	52	食事の間、利用者の会話があるのにテレビ・ラジオの放送を流している。	テレビやラジオを流している意味を、全体での共通認識として捉えることができる。	運営方針や支援のありかたの中で、意見を集約して今後の方向性をだす。	3ヶ月
4					
5					

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。